

三浦君、堂々のスピーチ

八戸のウイング
高等学院卒業式 6人、新たな道へ



ウイング高等学院の卒業生と在校生ら

不登校から高校を中退するなどして、通信制高校で学ぶ生徒をサポートしている八戸市のウイング高等学院（畑山篤学院長）の卒業式が二十八日、八戸グランドホテルで行われ、出席者が新たな道へ進む卒業生の巣立ちを祝福した。

この日、卒業を迎えたのは六人。真新しいスーツに身を包み出席した卒業生一人一人に、畑山学院長が声を掛けながら卒業証書を手渡した。

中学三年の二学期から不登校になり、進学

した高校も一週間ほど登校したきりで中退したという三浦君（仮名）が、卒業生を代表して言葉を述べた。

「正直、自分が代表あいさつをできる人間になれるとは思っていませんでした。これからは一人暮らしで不安も多く、思い通りにいかないこともあるかもしれない。でも自分で前に進む気持ちがあればうまくいくと思う」とキツパリ。

直前に代表を頼まれたにも関わらず、壇上では堂々としていた。出席した保護者らが涙を流し、会場を包んだ温かな拍手が卒業生の旅立ちを祝っていた。